



2022年3月期 決算説明会資料

特種東海製紙株式会社(東証プライム：3708)





財務情報

2022年3月期 決算概要

2023年3月期 業績見通し

株主還元の様況

事業戦略

第5次中期経営計画について

業績の推移・トレンド

経営環境の認識

最終年度に向けて

基盤事業の強化

産業素材

生活商品

特殊素材

成長戦略

パッケージ事業

合成繊維シート事業

フィブリック

環境関連事業

企業価値向上に向けて

プライム市場への上場

流通株式比率の向上

政策保有株式の縮減

サステナビリティを巡る
課題への取組



1

財務情報

2022年3月期 決算概要

2023年3月期 業績見通し

株主還元の様況

2

事業戦略

第5次中期経営計画について

基盤事業の強化

成長戦略

3

企業価値向上に向けて



連結業績

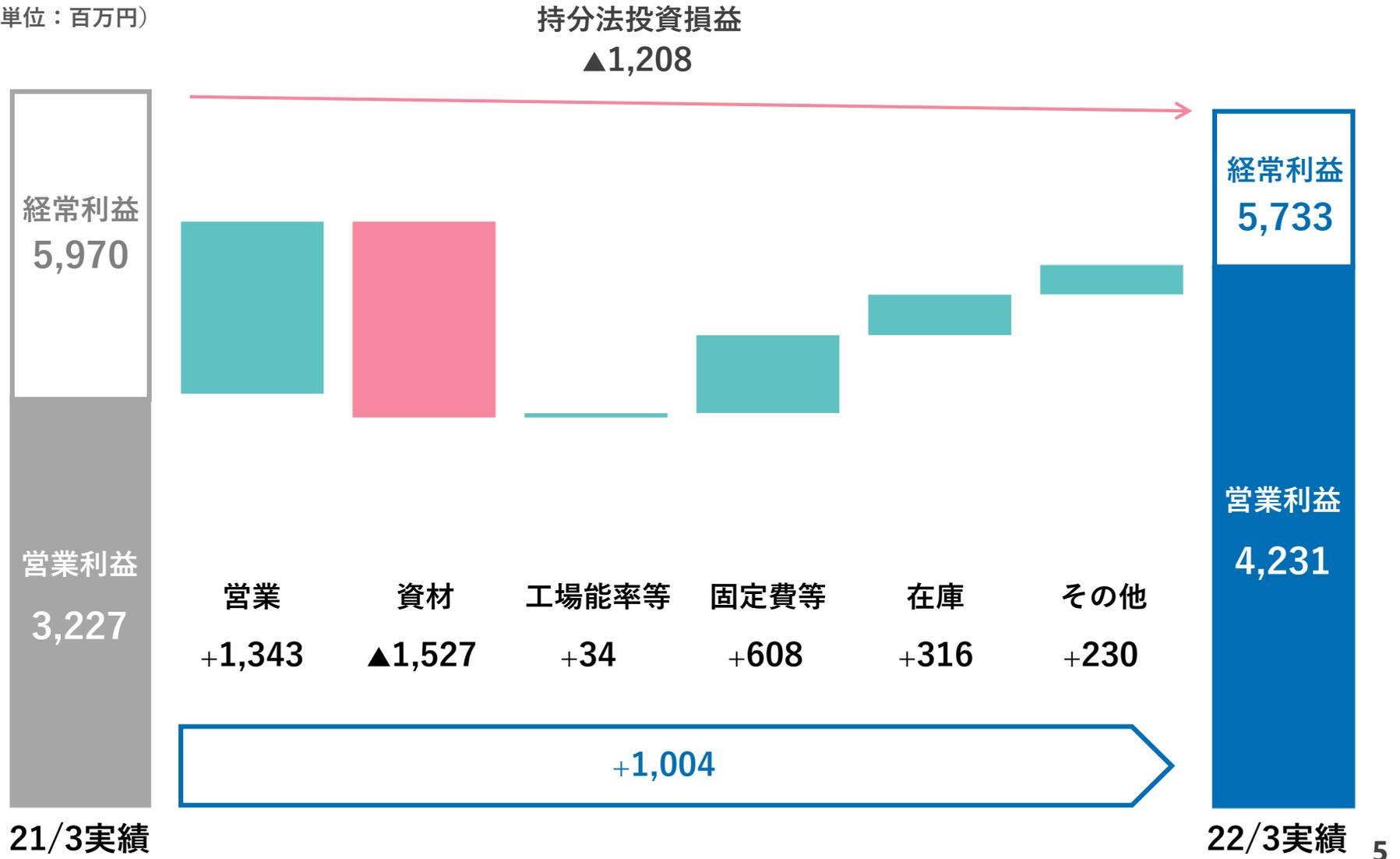


(百万円)	21/3 実績	22/3 実績	増減
売上高	76,403	80,711	+4,308
営業利益	3,227	4,231	+1,004
経常利益	5,970	5,733	△237
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,594	5,251	△343
営業利益率	4.2%	5.2%	—



利益の増減要因（対21/3）

(単位：百万円)



セグメント情報



(百万円)		21/3 実績	22/3 実績	増減
産業素材	売上高	37,130	39,375	+2,245
	営業利益	1,177	1,154	△23
特殊素材	売上高	18,746	21,275	+2,529
	営業利益	1,302	2,643	+1,341
生活商品	売上高	16,584	16,859	+275
	営業利益	833	574	△259
環境関連	売上高	8,773	8,174	△599
	営業利益	70	2	△68
消去等調整額	売上高	△4,831	△4,974	△143
	営業利益	△156	△143	+13
合計	売上高	76,403	80,711	+4,308
	営業利益	3,227	4,231	+1,004

連結業績見通し



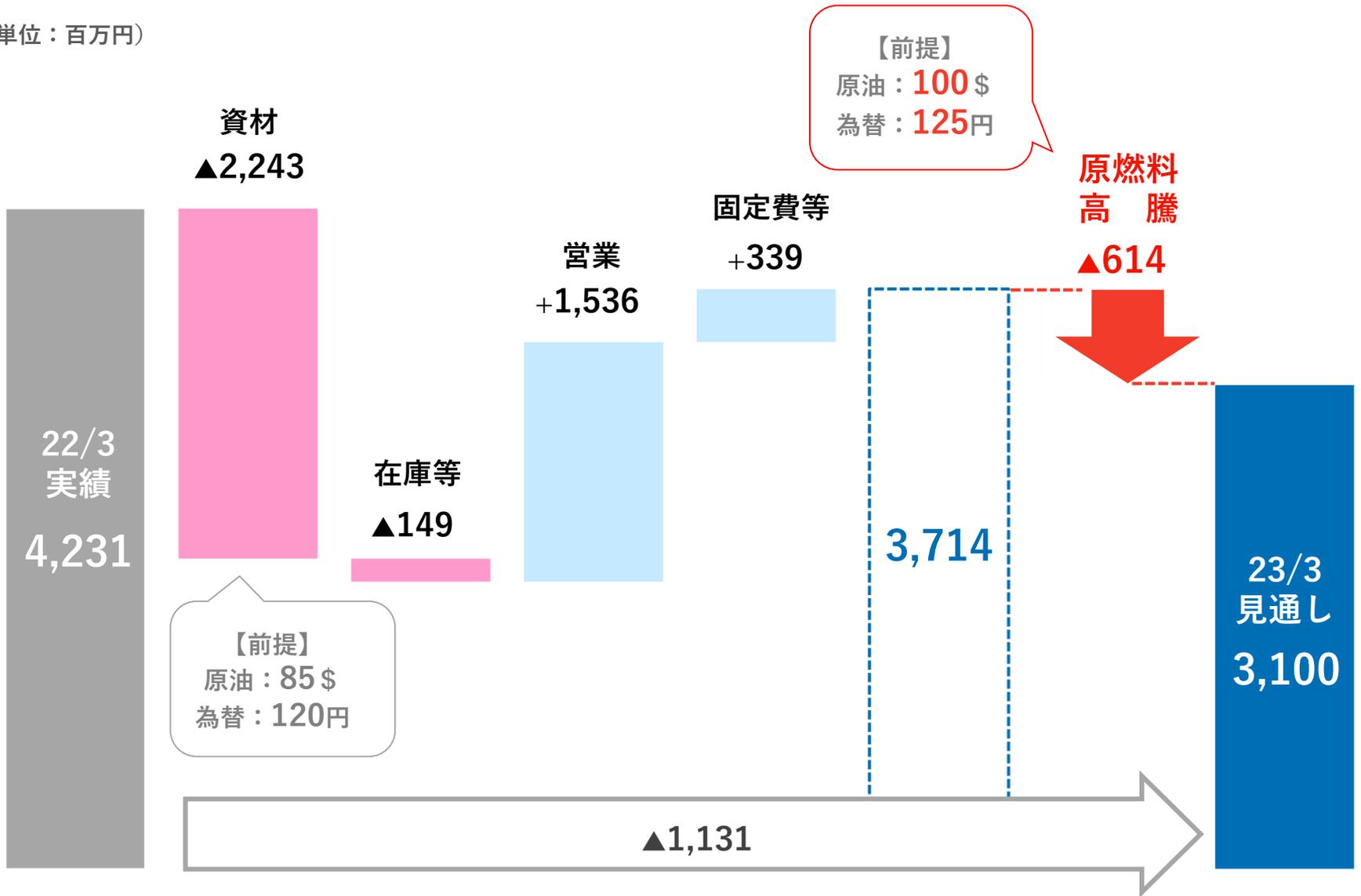
(百万円)	22/3 実績	23/3 見通し	増減
売上高	80,711	87,000	+6,289
営業利益	4,231	3,100	▲1,131
経常利益	5,733	4,000	▲1,733
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,251	3,900	▲1,351
営業利益率	5.2%	3.6%	—

※前提 為替レート 通期：125円/US\$
原油価格(ドバイ) 通期：100\$/B



営業利益の増減要因

(単位：百万円)



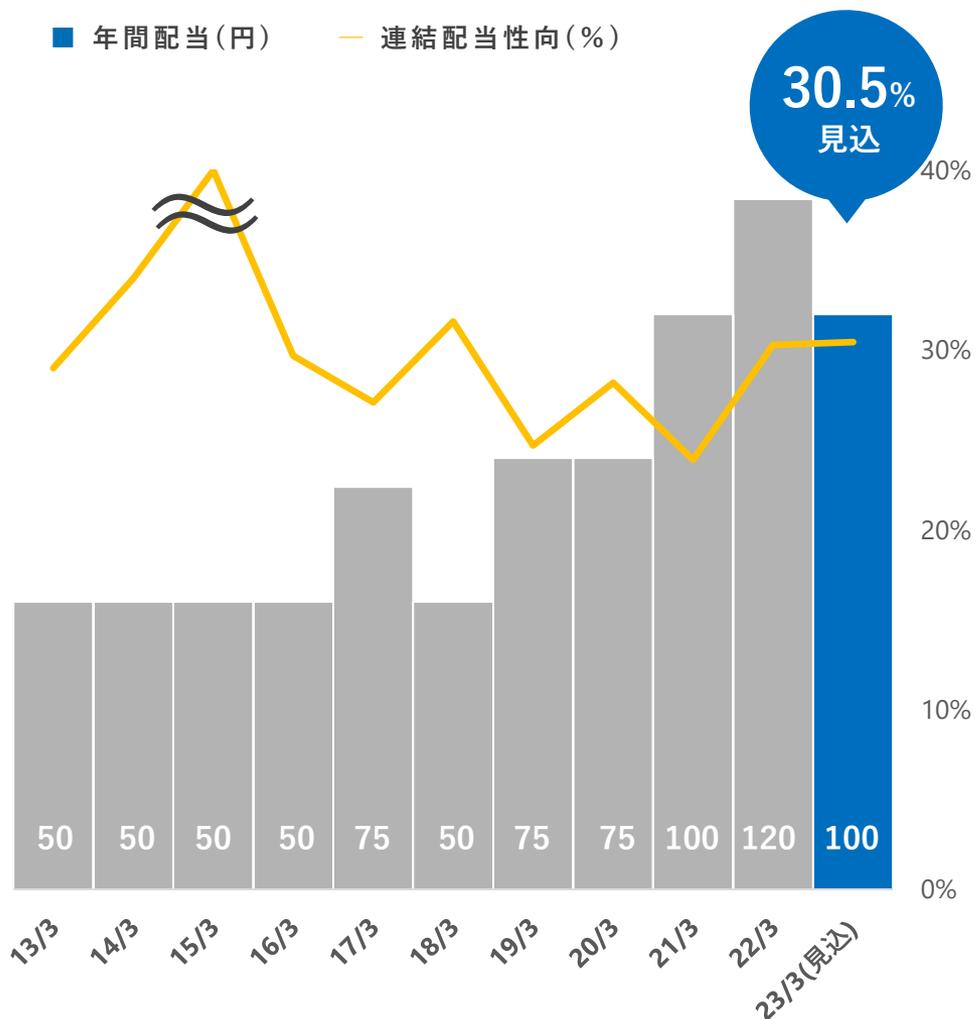
株主還元の様況



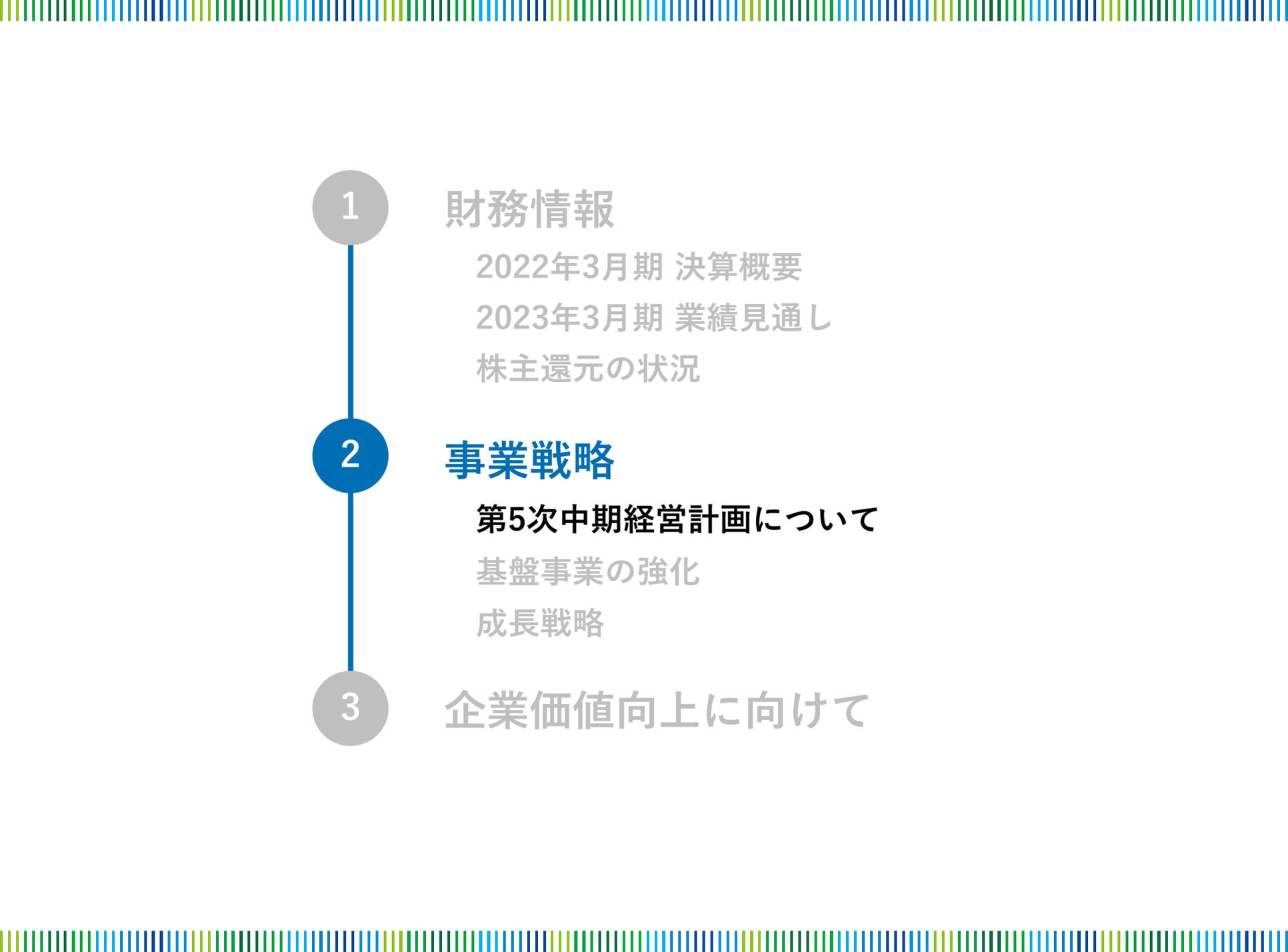
< 1株あたり配当金と連結配当性向の推移 >

■ 年間配当(円)

— 連結配当性向(%)



連結配当性向
30%以上を維持



1

財務情報

2022年3月期 決算概要

2023年3月期 業績見通し

株主還元の様況

2

事業戦略

第5次中期経営計画について

基盤事業の強化

成長戦略

3

企業価値向上に向けて

第5次中期経営計画期間中の業績推移



(百万円)	21/3	22/3	23/3見通し	目標値
売上高	76,403	80,711	87,000	82,500
営業利益	3,227	4,231	3,100	4,500
経常利益	5,970	5,733	4,000	—
当期純利益	5,594	5,251	3,900	—
営業利益率	4.2%	5.2%	3.6%	5.5%
ROE	7.8%	7.2%	5.3%	6.5%

利益のトレンド



< 3次中計平均 >

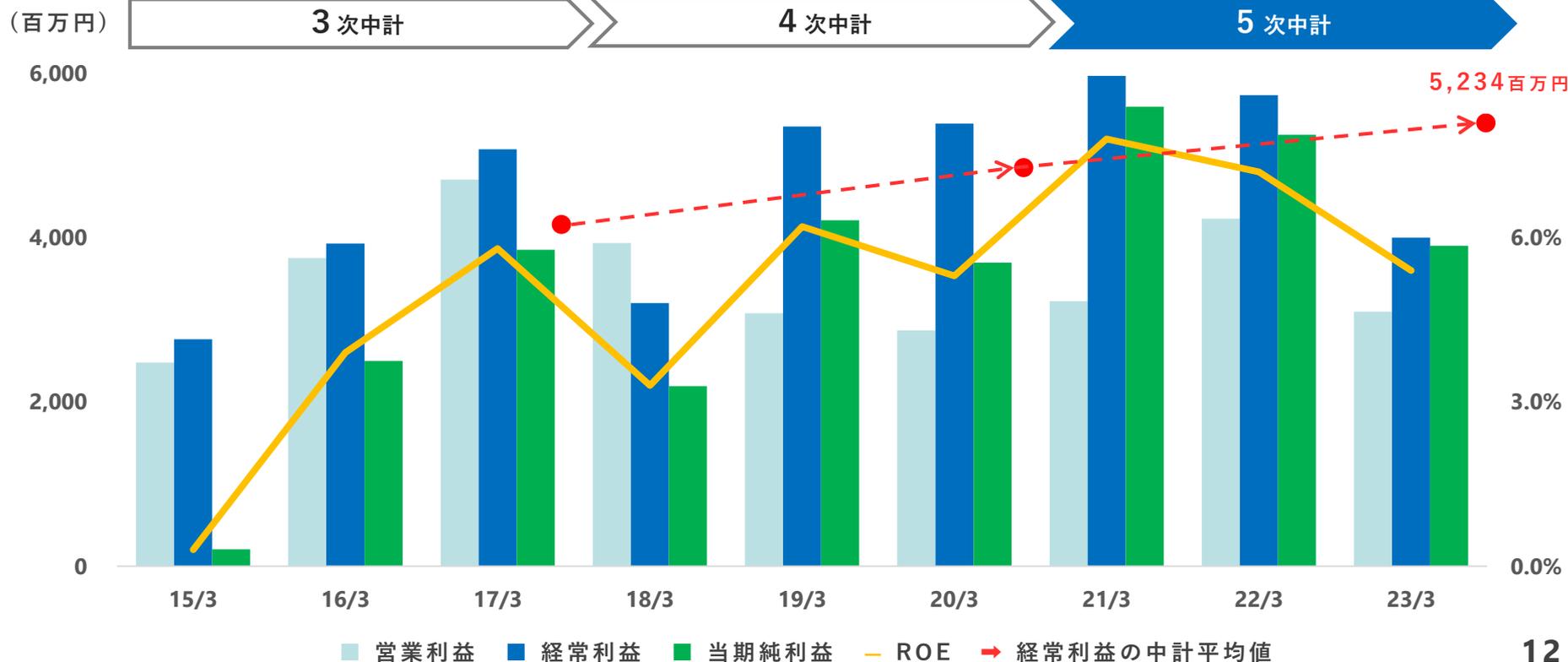
営業利益 : 3,645 百万円
 経常利益 : 3,921 百万円
 当期純利益 : 2,185 百万円
 ROE : 3.3 %

< 4次中計平均 >

営業利益 : 3,294 百万円
 経常利益 : 4,648 百万円
 当期純利益 : 3,366 百万円
 ROE : 4.9 %

< 5次中計平均(見込) >

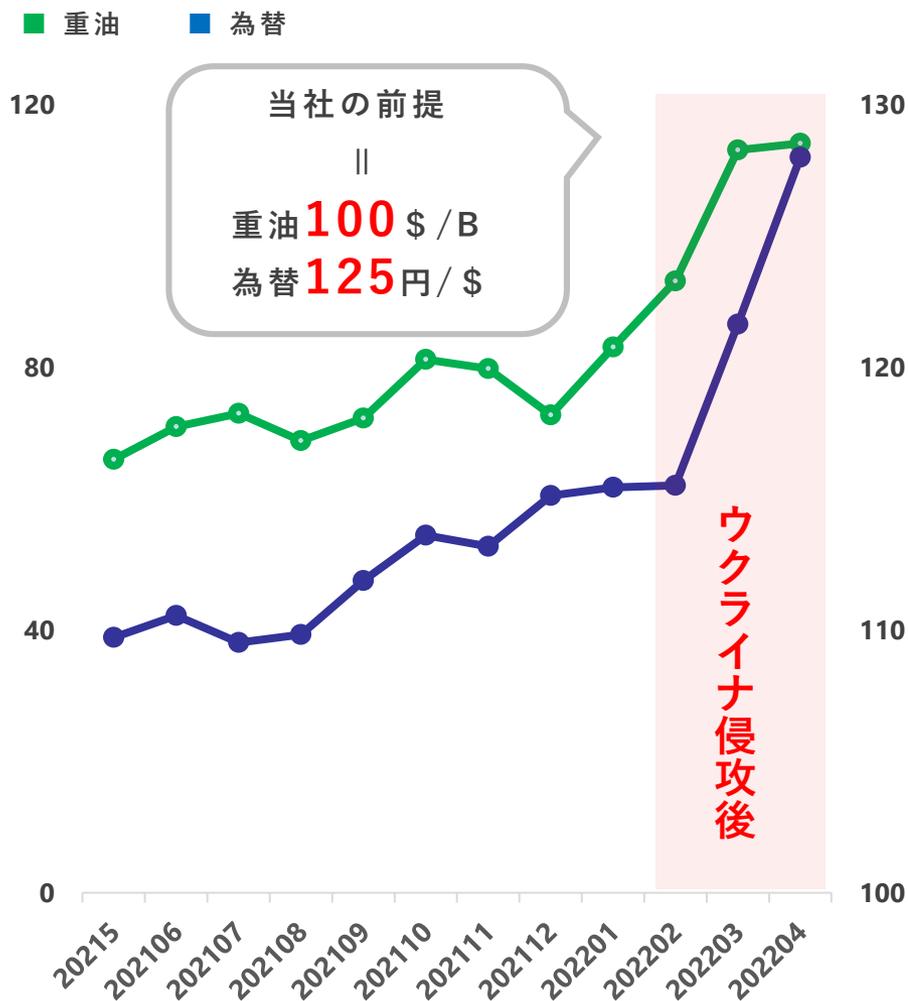
営業利益 : 3,519 百万円
 経常利益 : 5,234 百万円
 当期純利益 : 4,915 百万円
 ROE : 6.7 %



中計最終年度の経営環境の認識



< 重油 (\$ / B) と為替 (円 / \$) の推移 >



- ウクライナ侵攻
- 急速な円安



**原燃料価格の高騰が
利益を大幅に圧迫**



外部環境の打ち返しを図る

実施可能な方策を積み上げ、第5次中計目標達成を目指す。

成長分野の 早期取込

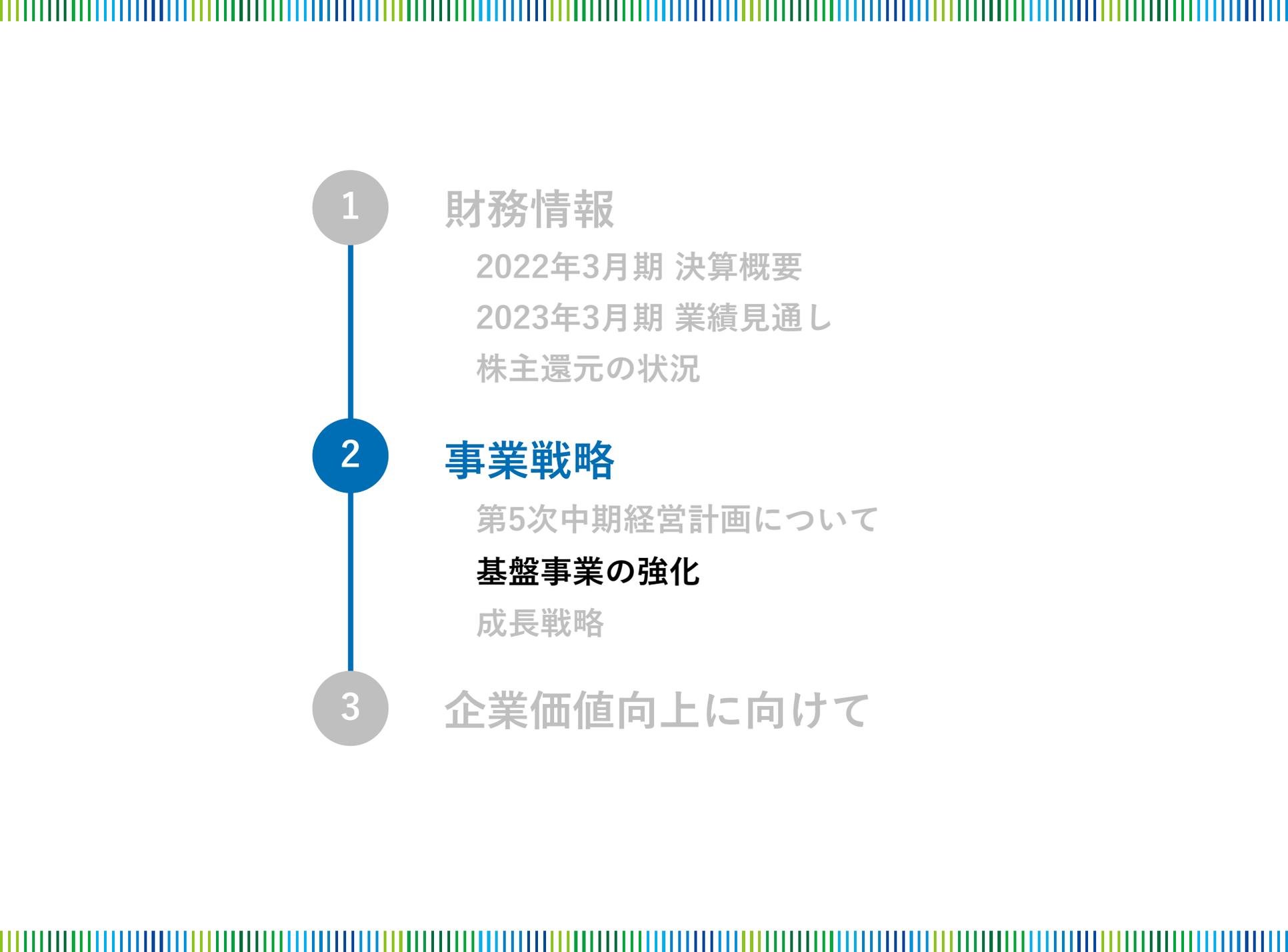
- ✓ 新商品の早期上市
- ✓ ニーズ開拓

重要課題への 施策の実行

- ✓ 取組の見極め
- ✓ 実現時期の早期化

基盤事業の体質強化

- ✓ 価格適正化の拡大
- ✓ 工場のコスト競争力強化



1

財務情報

2022年3月期 決算概要

2023年3月期 業績見通し

株主還元の様況

2

事業戦略

第5次中期経営計画について

基盤事業の強化

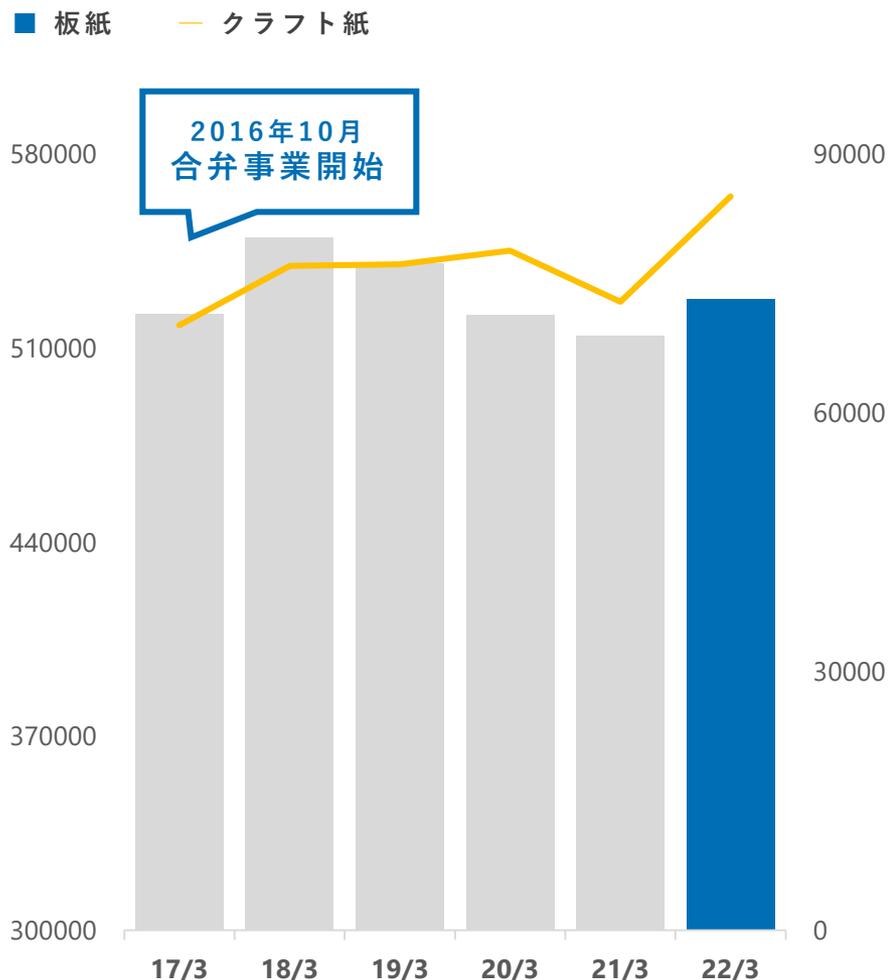
成長戦略

3

企業価値向上に向けて



< 島田工場生産量の推移(t/年) >



- 日本製紙(株)との提携後
安定的に製品を供給
- 釧路工場からのクラフト紙
転抄は当期内に完了予定

さらなる
生産体制強化

生産力で販売会社へ貢献、
島田工場のプレゼンス向上を図る。

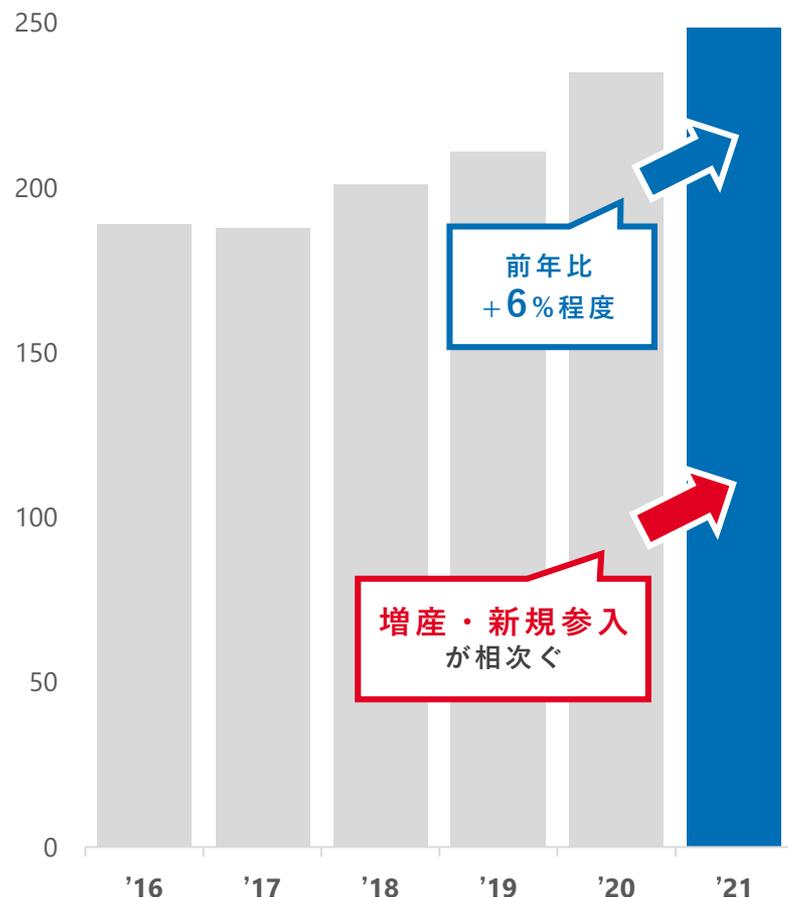
生活商品（ペーパータオル）



< ペーパータオルの市場規模推移（販売量t/年） >

➡ プラス要因

➡ マイナス要因



- 市場は引き続き 成長傾向
- 増産・新規参入により 供給過剰の状態

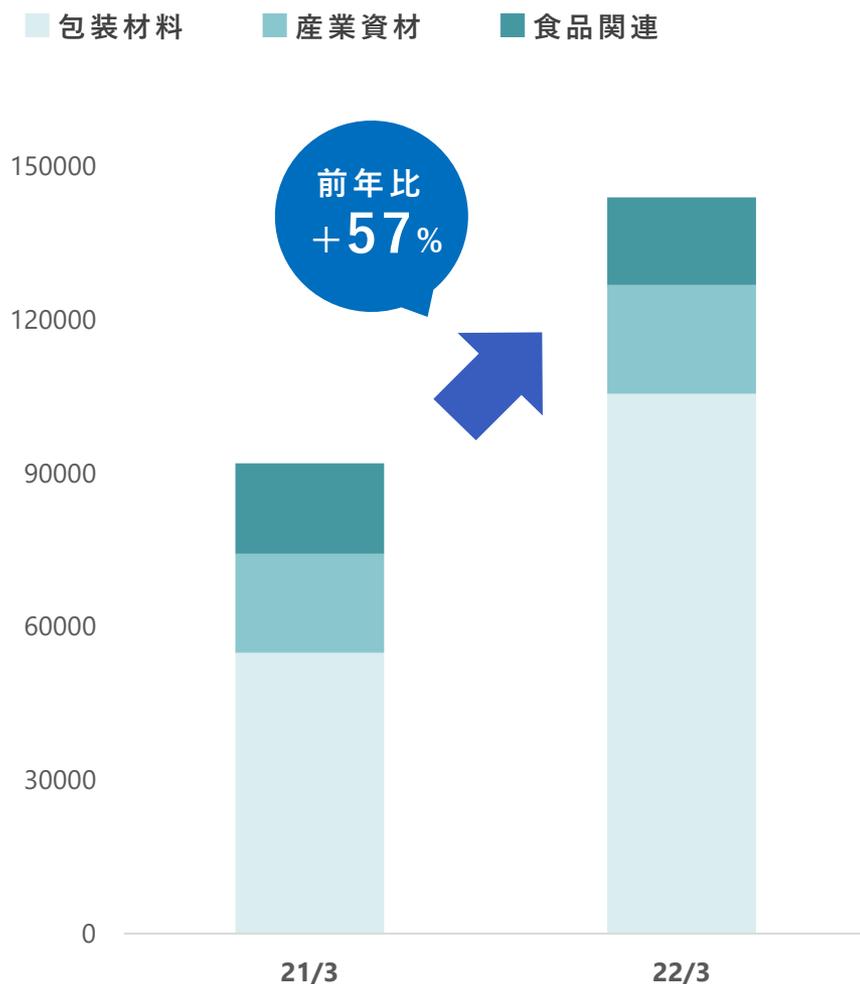


日本製紙クレシアとの 提携シナジー追求

クロスセルによる拡販や
都市倉庫活用による物流効率改善、
家庭用品ルートでの販売促進を図る。



< 島田ラミの受注量比較 (m²/年) >



- 業界の生産能力が縮小、島田ラミでは生産能力を上回る受注状況
- 環境配慮への圧力増加



島田ラミにおいては、
生産効率・物流効率の改善を目的とした

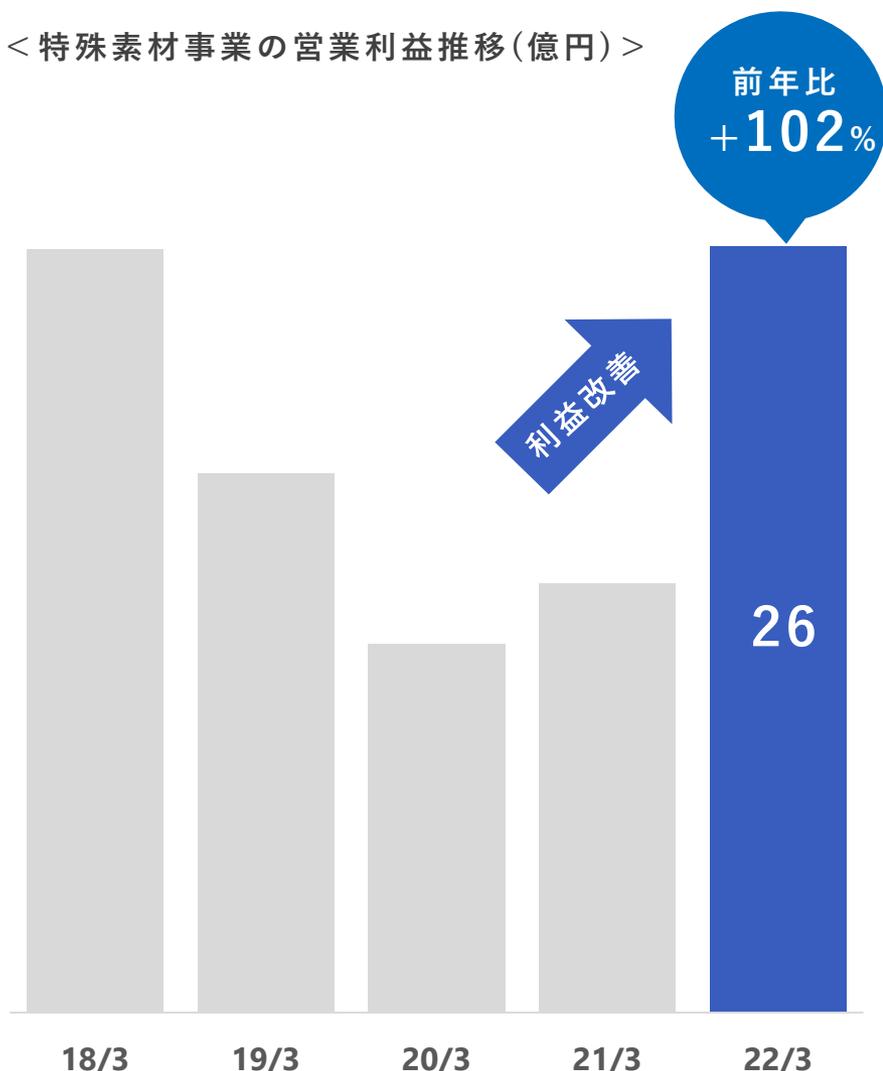
他社との連携を模索

環境配慮については、
富士ラミの技術をパッケージ事業へ活用

脱・減プラへ貢献



< 特殊素材事業の営業利益推移(億円) >



- ファンシーペーパーの需要は回復
- 工業用工程紙の需要は堅調
- 体質強化が奏功



原価低減 & 価格適正化の推進

体質強化継続するとともに、環境配慮型新規紙素材をはじめとした新たな機能素材の開発を目指す。

特殊素材：コストダウン施策の例



<実施例のイメージ>

時間がかかる製造ラインにおける銘柄変更業務で作業フローを分解し、それぞれの要素を点検。

運搬方法を変えてみたら？



3つも必要？



定常化していた作業を見直したことで効率UP



業務時間の短縮 = 労務費の削減
に貢献

- 三島工場各部署で労働時間短縮活動
- 実施前と比べ、労働生産性※**7.5%**向上



引き続き生産効率化等を通じた
コストダウンを図る

※ 労働生産性 = 生産量 / 労働時間



1

財務情報

2022年3月期 決算概要

2023年3月期 業績見通し

株主還元の様況

2

事業戦略

第5次中期経営計画について

基盤事業の強化

成長戦略

3

企業価値向上に向けて





パッケージ事業本部立ち上げ1年目と比べ、
見込顧客は順調に増加。

－ 2年目 －

1年目比 **1.5** 倍

－ 3年目(目標) －

1年目比 **3.0** 倍

- 展示会(計8回)でのアピールやメルマガ配信(計13回)
- 各種マーケティング策に成果



エンドユーザーに近い距離での
提案活動を継続、新たなニーズを探り、

売上の増加を目指す

当期売上目標：**100**百万円



< アクセサリー台紙にTT-SPARKLEを採用頂いた事例(当社HPより) >

導入事例

アクセサリーブランド「HASHIMOTO
NECO」

ブランドプロデューサー／デザイナー Hashimoto
Neco様



お客様の声



エンボス加工で**模様が浮き上がって見える**と同時に、**角度によって表情が変わる**ところがブランドのイメージにぴったり。
丁寧かつスピーディーな対応や小ロットで購入できる点も好印象！



パッケージ事業：使用用途の例



**TT-PACKAGE、
モールドともに
案件を着実に獲得**



製品の特性 : 絶縁性 耐熱性



製品の特性 : 施工性
リフォーム性

- TT-TOKRONは顧客開拓が進展
- フリース壁紙は23年3月期中の上市予定



採用実績の積み上げ図る

合成繊維シート事業の展望

当期売上目標

408百万円

長期ビジョン

3,000百万円規模





セルローズ系セパレータ
3つの特性

加工性

耐熱性

浸透性



フィルムセパレータ市場での
優位性

- 21年12月より
本格生産開始
- 販売開始は当下期へ



第5次中計内に
収益化の見込み



製造・品質の安定化

“国税”の品質審査
2年連続「優」

長期熟成を基本方針としつつ、
技術向上を目指し

ニューメイクスピリッツ※
を品評会へ

井川社有林の価値向上

樽プロジェクトにて
“自社材施策樽”が完成



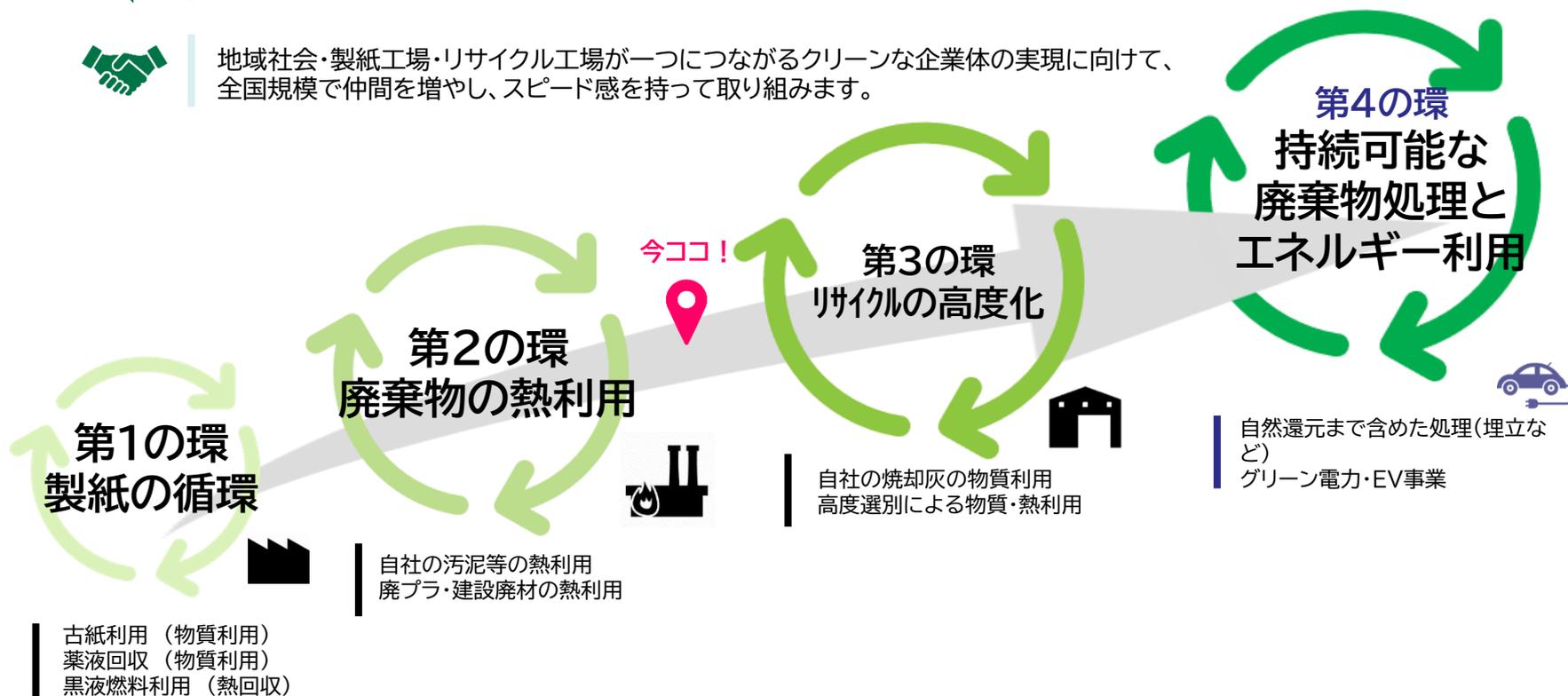
< 目指す姿 >

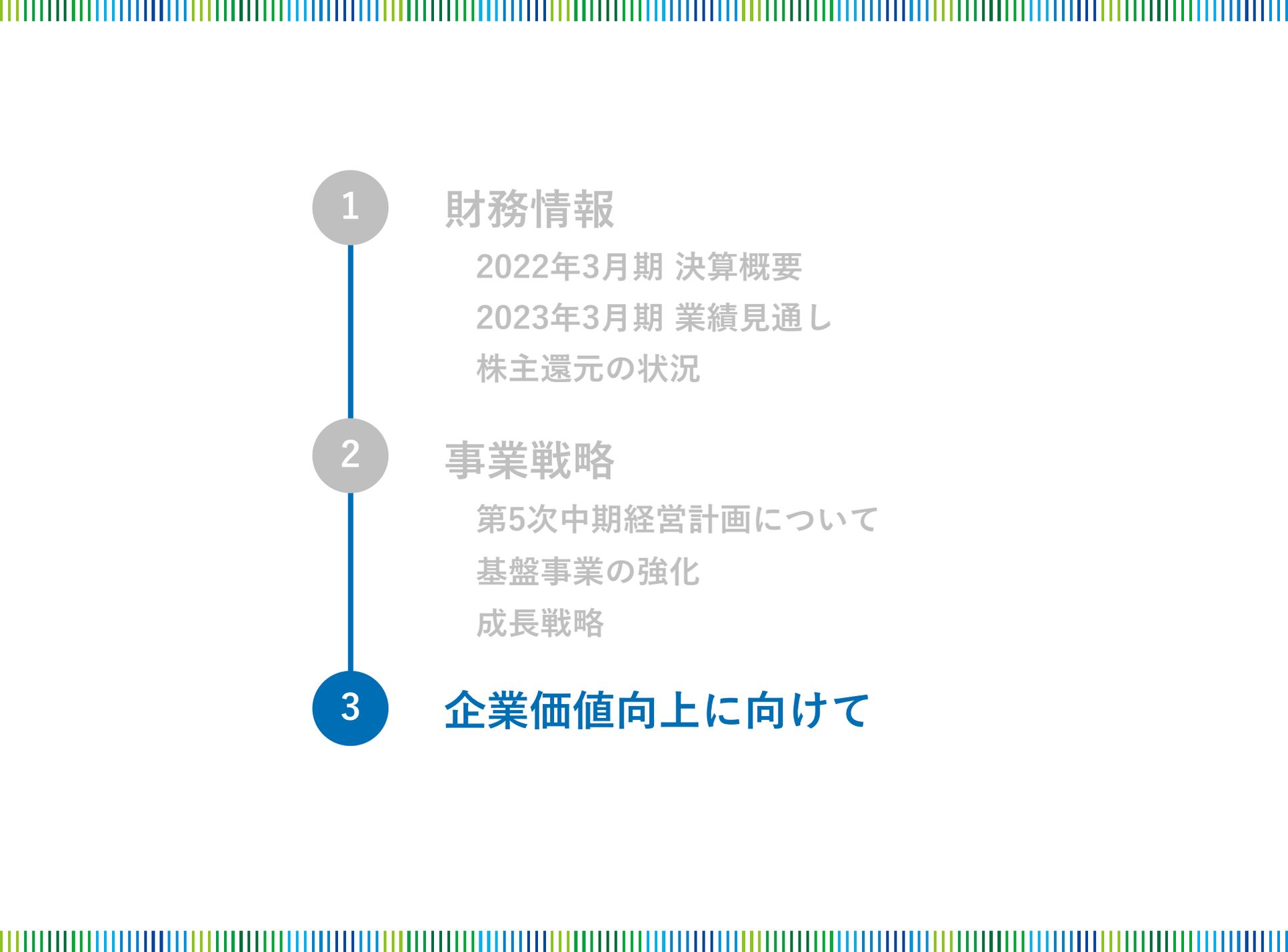


動脈産業と静脈産業の両方の視点を持ち、廃棄物の処理やリサイクルの現実を直視できる希少な企業集団として、産廃専門の業界大手とは異なる成長を追求し、資源循環の環を大きく広げてゆける企業になります。



地域社会・製紙工場・リサイクル工場が一つにつながるクリーンな企業体の実現に向けて、全国規模で仲間を増やし、スピード感を持って取り組みます。





1

財務情報

2022年3月期 決算概要

2023年3月期 業績見通し

株主還元の様況

2

事業戦略

第5次中期経営計画について

基盤事業の強化

成長戦略

3

企業価値向上に向けて



主な課題認識	進捗
独立社外取締役 1/3以上の選任	改善
企業の中核人材における 多様性の確保	
流通株式比率の向上	
政策保有株式の縮減	
サステナビリティを巡る 課題への取組み	継続

- 東証新市場区分スタート
- 高いCG水準が期待される
プライム企業



コーポレート ガバナンスの向上

改定されたCGコードのコンプライに限らず、
中長期的な企業価値向上を視野に、
課題への対応を進めていく

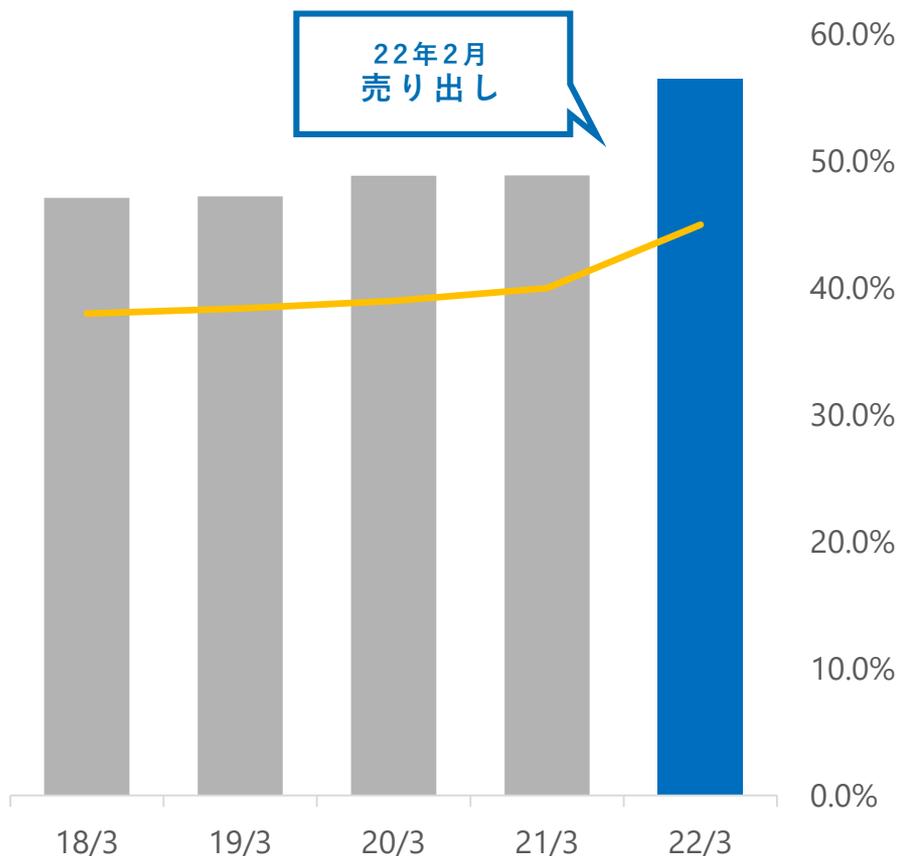
流通株式比率の向上



< 流通株式の推移 >

■ 流通株式数

— 流通株式比率



新市場区分の
一次判定時

40.6 %



22年3月末

45.0 %

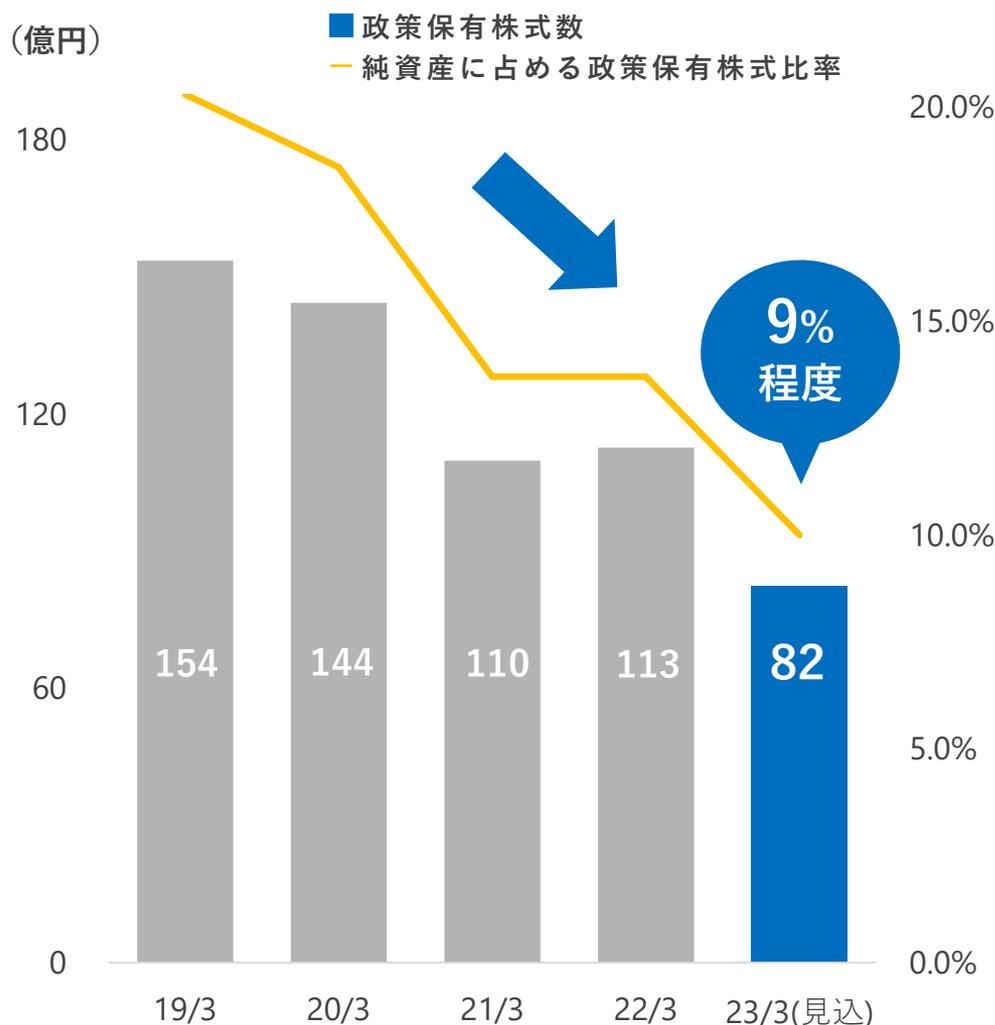


引き続き向上を図る

政策保有株式の縮減



< 政策保有株式の推移 >



- 定期的に取り締役会で保有方針を議論
- 22年中に売却を予定 (開示済み)

10%以下

純資産に占める政策保有株式の比率は
グラスルイス等が求める水準を
クリアする見込み

サステナビリティを巡る課題への取組み①



生み出した技術

レザック	タウパー	通帳表紙	トランプ用紙
ガラス合紙	オフセットマスター支持体	タイル貼り紙	
おしぼり用紙	大理石模様紙	医療用包装材	不織布
ウェブロン	傘紙	レッドロープ	タイヤ巻き紙

※上記は生み出した技術の一部を記載しています。

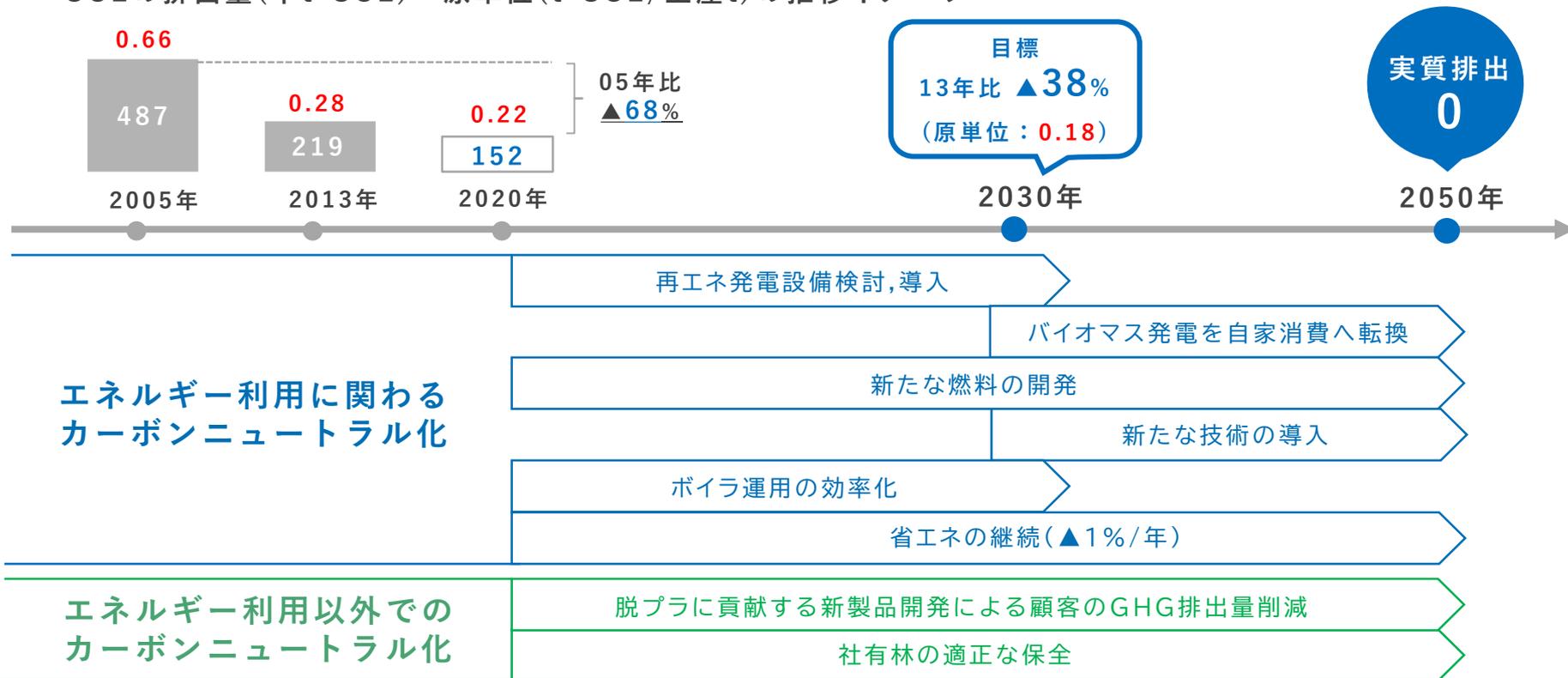
環境に貢献する設備

黒液回収ボイラ	バイオマスボイラ
水力発電	太陽光発電

サステナビリティを巡る課題への取組み②

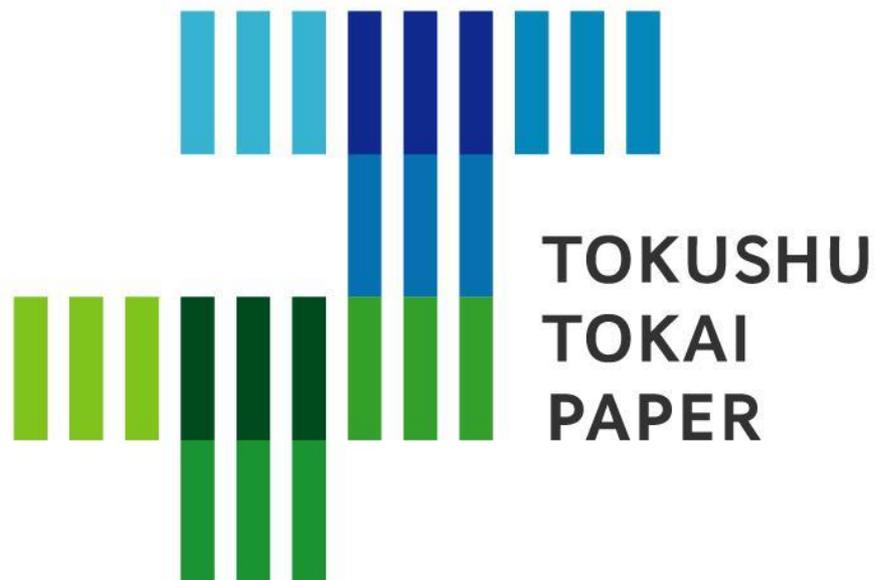


< CO2の排出量(千t-CO2)・原単位(t-CO2/生産t)の推移イメージ >



< 情報開示のスケジュール >

2月:TCFD賛同表明 → 3月:統合報告書の開示 → 6月:TCFDに係る情報開示



お問い合わせ先：財務・IR本部

〒104－0028

東京都中央区八重洲2－4－1
住友不動産八重洲ビル

Tel 03－3281－8581

Fax 03－3281－8591

E-mail：ttp.ir@s.tt-paper.co.jp

※本資料に掲載しております当社の計画および施策などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。様々なリスクおよび不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がございますことを、予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。